

21世紀山形県民会議

スピードと安定感 重要

「活性化の礎 急げインフラ整備」をテーマに「21世紀山形県民会議」(山形新聞、山形放送提唱)が17日、東京・内幸町の日本プレスセンタービルで開かれた。最重要課題の地方創生を実現させる上で、遅々として進まない地方の社会基盤整備は急務。人口減少を克服し、地方の潜在力を引き出す高速交通網の拡充を求め、幅広い視点から提言が相次いだ。
(司会は山形新聞常務取締役編集局長 深山洋)

現状と課題

今回のテーマは「活性化の礎 急げインフラ整備」とした。それぞれから意見を伺いたい。

吉村 地方創生実現の基盤となる交通インフラの整備に、総力を挙げて取り組むたい。東日本大震災の教訓を踏まえ、国土強靱(きょうじん)化を進める上でも極めて重要。フル規格の奥羽・羽越西新幹線の早期実現は急務であり、今こそ地域の一層の盛り上がり、一丸となった政府への働き掛けが大切だと考えている。今年5月には、県関係国会議員、市町村、経済界などによる推進組織「県奥羽・羽越西新幹線整備実現同盟」を立ち上げ、西新幹線の整備実現に向けた取り組みを

始めた。今後は意識啓発や理解促進など、県内における一層の機運醸成を図ることで新幹線整備の地域の熱意を高らより多くの声を結集する。

中川 同盟会の設立の背景は地方創生。その目的は人口減少の克服と地域経済の活性化の2点にある。地域が元気になるようにしていきたい。ただ、こうして県や地域が努力しても、基軸となる鉄道がすぐに止まってしまう状態では県の発展はない。整備中の道の駅を県の玄関口として、置賜全体の観光振興に寄与できるようにしていきたい。

長沢 ブランド総合研究所の調査で「農林水産業が盛んな地域」として本県が初めて全国1位になった。県産農畜産物の評価向上は農林水産業だけでなく、観光でも相乗効果を挙げており、スピード感のある交通網が必要。サクランボの生産などでは多くの労働力を必要とするが、高齢化などで県内だけで働き手を確保するのは困難で、産地を維持するには、県外からも労働力を確保しなければならぬ。技術と経営基盤を継承し、担い手を定着させるためにも高速交通網の整備を急ぐべきだ。生鮮品をいち早く届けられ、コスト低減にもつながる。輸出拡大で山形を売り込むチャンスであり、一丸となって陸、海、空のインフラ整備をすることが極めて重要だ。

中川 勝氏



県や地域が努力しても、基軸となる鉄道がすぐに止まってしまう状態では県の発展はない。



吉村 美栄子氏

今こそ地域の一層の盛り上がり、一丸となった政府への働き掛けが大切だと考えている。

清野 IT技術の発展により、各種データのやりとりや遠隔地とのテレビ会議などが可能になったとはいえ、商談などで県外の取引先に出向

も大きく影響する。

清野 伸昭氏



企業誘致や製品などの輸送を考えた場合も、移動に時間がかかることは大きなハンデになる。

出席者	
◇国会議員	衆院議員 遠藤 利明氏 衆院議員 鈴木 憲和氏 衆院議員 加藤 鮎子氏 衆院議員 近藤 洋介氏 参院議員 舟山 康江氏 参院議員 大沼 瑞穂氏 知事 吉村美栄子氏 米沢市長 中川 勝氏 県商工会議所連合会長 清野 伸昭氏 JA山形中央会長 長沢 豊氏 庄交ホールディングス社長 国井 英夫氏 国土交通省技監 森 昌文氏 北陸経済研究所 調査研究部担当部長 藤沢 和弘氏
◇各界代表	
◇アドバイザー	

提唱者代表あいさつ

山形新聞グループ経営会議議長 寒河江浩二
山形新聞社長



今回は「活性化の礎 急げインフラ整備」をテーマに設定した。東京一極集中さらには地方の人口減少が大きな課題となっている。人口が集中する都市部から本県への新たな人の流れをつくるためには、フル規格新幹線整備や高速道路建設の促進、空路の拡充などが必要不可欠だ。とりわけフル規格新幹線の整備は、本県の活性化にとって極めて重要な課題と考える。

山形新幹線は本県と首都圏を結ぶ大動脈として大きな役割を担ってきた。しかし、北海道新幹線や北陸新幹線など全国で相次ぐフル規格新幹線の延伸・開業の陰で、その時間的な優位性は失われている。新青森―東京間の距離は714キロあるが、東北新幹線はこれを最速2時間59分で結ぶ。一方、山形―東京間は半分の360キロだが、最速で2時間26分かかる。ほとんどは3時間弱だ。見劣りするのとは明かだ。風雨や雪などで、運休や徐行運転も繰り返されている。高速道路に関しても、県内の整備率は60%で、全国平均の84%、東北平均の84%を大きく下回っている。インフラ整備の推進なくして真の地方創生はあり得ない。今こそ、強い危機感を持って県民が一丸となり、声を上げるべき時だ。

山形新聞	
グループ経営会議議長	寒河江浩二
社長・主筆	深山洋
常務取締役編集局長	大井祐一
取締役東京支社長	佐藤秀之
取締役編集総務	
山形放送	
社長	本間和夫
取締役東京支社長	齋藤繁也
報道制作局長	伊藤清隆

◇提唱者